

掲載日:2013年6月28日更新



ともに明日へ

“ヘルスケア・ニューフロンティア”に取り組みます



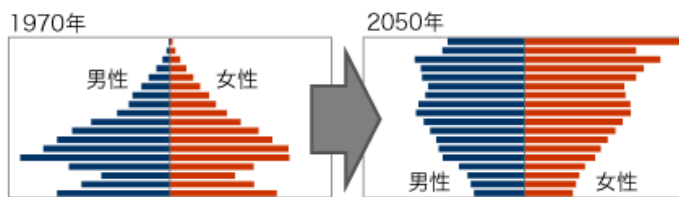
神奈川県知事
荒波 祐治

今、私たちは、高齢化の急速な進展という、人類がこれまで経験したことの無い急激な社会変化の中にいます。

この変化をどうやって乗り切るのか。私たちの知恵が試されています。

超高齢化という急激な社会構造の変化

まず、このグラフを見てください。神奈川県の年齢別人口のグラフです。



※最下段が0～4歳、最上段が85歳以上の人口を表しています。

1970年には文字どおりピラミッド型だった年齢別人口構成が、2050年には逆向きになります。これは、人類がかつて経験したことの無い急激な社会構造の変化です。

日本は世界で最も高齢化が進んでおり、特にこの神奈川は全国でも一、二を争うスピードで進んでいます。そして、速度の違いこそあれ、先進国はすべて、この超高齢社会に向かっていきます。われわれは社会構造変化の先頭に立っているのです。

こうした変化を乗り越えるには、中長期的な視点に立った抜本的な改革が必要ですが、お手本はありません。先頭にいる神奈川だからこそ、世界に向けて先進モデルを示すことができるのです。

超高齢社会に立ち向かうための二つのアプローチ

私は、二つのアプローチで、この問題を解決したいと考えています。

一つは、最先端の医療や技術の追求というアプローチです。iPS細胞に代表されるように、日本には世界をリードする基礎研究が多くあります。これを革新的な医療として実用化し、産業として育てます。国際的な医療人材の育成にも取り組みます。その中心が京浜臨海部の「ライフイノベーション国際戦略総合特区」です。

もう一つは、“未病を治す”というアプローチです。人は、健康か病気かという二つに分かれるのではありません。健康と病気の間にはグラデーション(緩やかな変化)の部分があるのです。これが「未病」という状態で、東洋医学には昔からある考え方です。



健康 未病 病気

いつまでも健康であるためには、病気になってから薬で治すのではなく、医食農同源の発想で、日ごろの生活習慣から未病を治していく必要があるのです。

この二つのアプローチを融合することにより、個別化医療を実現し、健康寿命を延ばし、誰もが元気で長生きできる社会を目指す新たなプロジェクト『ヘルスケア・ニューフロンティア』に取り組みます。

そして、これは、全国に、さらには世界に発信する神奈川モデルになるのです。この神奈川から、健康長寿社会を切り拓(ひら)いていきましょう。

[このページの先頭へもどる](#)

[県のたよりトップページへもどる](#)

神奈川県 県民局 暮らし県民部 広報県民課

〒231-8588 横浜市中区日本大通1
[電話]045(210)3662[ファックス]045(210)8834
[県のたよりに関する問い合わせフォーム](#)

神奈川県 このページの所管所属は [県民局 暮らし県民部 広報県民課](#) です。

[サイトポリシー・免責事項・著作権](#) | Copyright(C) -2010 Kanagawa Prefectural Government. All rights reserved.